

令和 5(2023)年度 一般社団法人 神奈川県知的障害施設団体連合会 事業報告 (案)

I 概要

神奈川県知的障害施設団体連合会（以下、県連合会）は、懸案事項であった法人化については、令和 5 年 2 月 1 日に一般社団法人として設立登記が完了し、令和 5 年 6 月総会を経て一般社団法人として事業開始となりました。明確な法的位置付けを得るとともに、運営の推進と組織体制の強化を図りました。一般社団法人としての役員任期は 2 年となり、最初の任期は令和 4 年度・5 年度でした。

令和 5 年度は、新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ）の影響を受けて 4 年目となり、ようやく国は、コロナを令和 5 年 5 月 8 日より、感染症法上の 2 類相当から季節性インフルエンザと同等の 5 類へ移行しました。課題であった濃厚接触者等の諸条件が緩和されました。しかし、移行後もコロナ、インフルエンザなどの感染症は多数発生しており、施設・事業所では、高齢、基礎疾患等で重症化リスクが高い利用者の命と健康を守るため慎重に対応していくことが求められています。それでも社会・経済活動は再開され動き出しました。コロナがもたらした人や地域の交流が制限された 4 年間は、人々の気力、体力や地域間のコミュニケーションに大きな影を落としたことは否めません。改めて出来る範囲で利用者ご本人が地域、社会へ参加できる活動を再開した令和 5 年度でした。そのような中でコロナがもたらした唯一の効果であるオンライン化により、当連合会の会議、委員会、研修等を進めることが出来ました。今後も対面会議とともにオンラインの活用により有効な会議、研修等を実施してまいります。

神奈川県は「ともに生きる社会かながわ憲章」を経て、令和 5 年 4 月に「神奈川県当事者目線の障害福祉推進条例～ともに生きる社会を目指して～」を施行しました。施行までの経緯は、県は各関係機関団体へ協力を呼びかけ、県連合会としても情報共有を図り、意見交換を繰り返しました。さらに、この条例に基づいた基本計画（令和 6 年度～令和 11 年度）が令和 6 年 3 月に策定されました。障がいのあるご本人の意思決定支援の取組みの原点は当連合会が 1994 年に策定した「あおぞらプラン」にあります（基本計画のコラムで「あおぞらプラン」が紹介されています）。ご本人の意思決定で、ライフステージに応じて選択できる多様な循環型サービスを構築する考え方は共通しており、神奈川の障がい福祉の先駆的な取組みを表していると考えられます。

防災については、広域災害時の対応について当連合会として災害対策計画による防災対策委員会を中心に地域防災委員会を設置しています。当連合会は、かながわ災害福祉広域支援ネットワークの構成団体として、神奈川県災害派遣福祉チーム（神奈川 DWAT）の創設に協力することを神奈川県と令和 3 年 1/26 に基本協定を締結以降、令和 5 年度も引続き会員施設へ参加を呼びかけました。結果、県下の福祉関係団体の理解を得て 43 法人 93 施設から 192 名がチーム員登録を完了しています（2024. 2. 1 現在）。その中で当連合会から 47 名の職員が研修を受けてチーム員登録しています。今後も防災活動については神奈川県、県社協と連携して進めてまいります。

令和 6 年元日に発生した能登半島地震の救援対応については、国からの要請で神奈川県は神奈川県 DWAT を石川県金沢市内の 1.5 次避難所や輪島市内の避難所等へ 2/1～2/16、3/17～3/28 と派遣しました。当連合会は、緊急物資の購入費用として当連合会特別会計より佛子園の口座に送金するとともに、(公財)日本知的障害者福祉協会(以下、日知協)と連携して会員施設よりの義援金を日知協へ送金しました。義援金は日知協より北陸地区知的障害者福祉協会へ送金され、被災した施設へ配分されます。人的派遣については国の派遣システムがあり、全社協の災害福祉支援ネットワーク中央センターが委託を受けて、被災施設からの要望と登録した施設・職員とのマッチングを行なっている状況です。特に被災した障害関係施設・事業所への人的支援は、被災直後から北陸地区協会、東海地区協会が中心に動いていましたが、復旧、復興が長期化する見通しのため当協会は、令和 6 年 2/16 当連合会理事会にて災害対策本部を立上げ、日知協、北陸地区協会、関東地区協会とも連携して今後の調整に入りました。

人権と権利擁護については、当連合会として権利擁護活動を進めている人権委員会は、毎年開催してきた新人職員対象の「人権研修会」を令和 5 年 7/27 (木) オンラインで開催(研修後のアンケート結果は当連合会 HP 会員ページに掲載してあります)。利用者ご本人参加の「あおぞら意見交換会」も令和 6 年 1/17(水)にオンラインで開催しました。コロナ下で試行してきたオンラインでの開催は、移動する負担がないため、障害の重い方も参加しやすいという利点があり同じ形の開催としました。

研修については、研修委員会としてオール神奈川で開催している「第 38 回神奈川県障害福祉職員実践報告会」がコロナのため 3 年続けて中止となっていました。令和 5 年度については、3 部会の開催が実現しました。開催状況は、生産活動・就労支援部会は令和 6 年 1/24 (水) 対面で開催。障害者支援施設部会は令和 6 年 2/27 (火) にハイブリッドで開催。支援スタッフ部会は令和 6 年 2/29 (木) にハイブリッドで開催しました。

やまゆりの日については、津久井やまゆり園事件から 7 年を迎えました。神奈川県身体障害施設協会と連携し、令和 5 年 7 月 21 日(金) 県民サポートセンター2 階ホールで「やまゆりの日 追悼・講演会～共生社会の実現に向けて～」を開催しました。多数のご来賓と会員関係者で会場参加 98 名。追悼式では黙祷の後、主催者より「あおぞら宣言」と共に挨拶し、来賓として日本知的協会井上会長、関東地区知的協会山下会長、県社協篠原会長より挨拶をいただきました。続いてかながわ共同会より津久井やまゆり園の近況報告の後、神奈川県副知事的首藤健治氏に令和 5 年度より施行された「神奈川県当事者目線の障害福祉推進条例」について説明いただきました。人権講演会は、令和 4 年度に日本知的障害者福祉協会会長賞を受賞された社会福祉法人みなと舎・前理事長の飯野雄彦氏に講演いただきました。講演では、メンバーさん(利用者)との日常のふれあいから生み出される「福祉のこころ」の原点をご教示いただきました。オール神奈川の福祉施設・事業所関係者一同感銘を受けるとともに、改めて「ともに生きる社会」の実現に向けて、決意を確認することが出来ました。神奈川県社会福祉協議会様には共催いただき、ご協力とご配慮をいただきまして誠にありがとうございました。

当連合会は日知協の地方会として、関東地区知的障害者福祉協会と共に階層的な組織になっています。国との協議調整も日知協を通して行っていることから意見、要望等はとりまとめて情報共有に努めました。特に障害者総合支援法改正法施行後 3 年の見直しの「令和 6 年度障害福祉サービス等報酬改定について」の様々な課題について情報の周知に努めました。また、急激な物価高騰や賃金上昇を踏まえた令和 6 年度障害福祉サービス等報酬改定要望集会が、令和 5 年 10 月 26 日（木）衆議院第一議員会館にて開催され、各障害関係団体とともに日知協として当連合会より 20 名が参加しました。

総務委員会、事務局としては、コロナ下の対策として ZOOM ライセンス（500 人まで参加可能）を継続し、オンライン会議で理事会、各委員会、研修会等を開催しました。さらに当連合会ホームページを見やすいデザインに令和 3 年度にリニューアルしたため、以降は特に会員ページに会議資料及び研修会動画を掲載し、いつでも視聴できるように会員に周知しました。

日知協「第 10 回全国小・中学生障がい福祉ふれあい作文コンクール」においては、オール神奈川で小中学校に本企画の周知に努め、小学生の部は 15 作品、中学生の部は 13 作品の応募をいただきました。当連合会の選考委員会を経て小学生の部 5 作品、中学生の部 5 作品を日知協へ推薦したところ、全国から集まった 1313 作品の中から、神奈川からの作品が小学生の部で文部科学大臣賞と厚生労働大臣賞のダブル受賞、入選は 6 作品となりました。学校をあげて取り組んで応募数が多かった学校を表彰する学校賞は、川崎市立塚越中学校が受賞されました。当連合会の役員が分担して、各学校を訪問して生徒さんに表彰状、記念品等をお届けしました。各大臣賞の小学校への訪問日には生徒さん、お母様、校長、担任教諭が集まってくださり、作品にまつわる想いやエピソードも聴かせていただき、このたびの受賞を大変喜んでいただきました。学校賞についても、生徒さん、校長にお届けしまして障がい福祉の理解、啓発に向けての取組みに感謝を伝えました。

協会創立 60 周年については、令和 5 年度は、当連合会の前身である神奈川県精神薄弱者愛護協会が 1963(昭和 38)年 9 月 9 日に創立してから 60 周年に当たる年でした。現在は、政令市の関係で 4 県市協会に分かれた連合会組織になっていますが、オール神奈川で創立 60 周年記念誌編集委員会を組織して「のびろ 協会創立 60 周年記念号」を発行しました。また、60 周年という節目にその歴史を振り返り、今後の知的障害福祉の充実と発展を願うために「神奈川県知的障害施設団体連合会 60 周年記念式典及び祝賀会(のびろ会)」を令和 5 年 11 月 10 日（金）ローズホテル横浜で開催しました。ご来賓、関係者の皆様が 145 名集い、記念講演では「菅 修と神奈川の知的障害者福祉のあけぼの」という題名で田ヶ谷雅夫氏(社会福祉法人ぶどうの里 名誉理事長)にご講演をいただきました。功労者表彰では 16 名の皆様に感謝を捧げました。祝賀会では懇親を深めるとともに、アトラクションに登場した利用者ご本人が参加するバンド演奏は「あおぞらプラン」の精神を表わすものでした。ご協力いただきました各関係団体、関係者皆様に心より感謝申し上げます。

Ⅱ 事業の実施状況

1. 理事会・総務委員会等の開催

第1回 総務委員会 4月7日（金）10:00～12:00 ZOOM開催

第1回 理事会 4月28日（金）10:00～12:00 ZOOM開催

- ① 国保連の請求システム変更に伴う緊急要望に関する事
- ② 新型コロナウイルス感染症に関する事
- ③ 日本知的障害者福祉協会に関する事
- ④ 令和4年度事業報告・決算、令和5年度事業計画・予算に関する事
- ⑤ 連合会創立60周年に関する事
- ⑥ やまゆりの日講演会に関する事

第2回 総務委員会 6月2日（金）10:00～12:00 ZOOM開催

第2回 理事会 6月16日（金）10:00～12:00 ZOOM開催

- ① 新型コロナウイルス感染症の感染状況に関する事
- ② やまゆりの日講演会に関する事
- ③ 連合会創立60周年に関する事
- ④ 連合会法人化の社員総会に関する事
- ⑤ 全国小中学生障がい福祉ふれあい作文コンクールに関する事

令和5年度 社員総会 6月30日（金）13:30～15:30

議決権のある社員総数 428名 出席社員数（委任状による者を含む）274名

- ① 令和4年度事業報告・決算、令和5年度事業計画・予算の承認に関する事
- ② 役員の選任に関する事
- ③ 規則・規定に関する事
- ④ 報告事項

第3回 総務委員会 10月6日（金）10:00～12:00 ZOOM開催

第3回 理事会 10月27日（金）10:00～12:00 ZOOM開催

- ① 県行政に関する事
- ② 新型コロナウイルス感染症の感染状況に関する事
- ③ 日本知的障害者福祉協会に関する事
- ④ 連合会創立60周年に関する事

臨時 理事会 2月2日（金）10:00～12:00 ZOOM開催

- ① 県行政に関する事

- ② 令和6年能登半島地震に関すること
- ③ 全国小中学生障がい福祉ふれあい作文コンクールに関すること

第5回 理事会 2月16日(金) 10:00～12:30 ZOOM開催

- ① 県内の虐待事案に関すること
- ② 令和6年能登半島地震に関すること
- ③ 全国小中学生障がい福祉ふれあい作文コンクールに関すること
- ④ 実践報告会に関すること

監事監査は6月13日(火) 近藤総務委員長が河原氏、出口氏を訪問し実施。

2. 連合会事業の実施

(1) やまゆりの日講演会

7月21日(金) 13:00～16:00 神奈川県民センター 2階ホール 98名参加

13:00～13:40 追悼式 司会：飯山文子理事

1. 黙祷
 2. 主催者挨拶・あおぞら宣言

	会長 出縄 守英 氏
--	------------
 3. 来賓紹介 神奈川県

	副知事 首藤 健司 様
公益財団法人日本知的障害者福祉協会	会長 井上 博 様
関東地区知的障害者福祉協会	会長 山下 望 様
社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会	会長 篠原 正治 様
神奈川県知的障害者施設保護者会連合会	会長 大矢 武久 様
神奈川県手をつなぐ育成会	会長 中川 孝子 様
一般社団法人やまゆり知的障害児者生活サポート協会	
	理事長 市川 高弘 様
神奈川県民間知的障害施設協同会	会長 目黒 裕 様
特定非営利活動法人神奈川セルフセンター	副会長 近藤 秀樹 様
 4. 来賓挨拶

公益財団法人日本知的障害者福祉協会	会長 井上 博 様
関東地区知的障害者福祉協会	会長 山下 望 様
社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会	会長 篠原 正治 様
 5. 津久井やまゆり園報告～社会福祉法人かながわ共同会

津久井やまゆり園	理事長 山下 康 氏
	園長 永井 清光 氏
- 13:45～14:15 講演① 「当事者目線の障害福祉推進条例について」
- | | |
|--|------------------|
| | 神奈川県 副知事 首藤 健司 様 |
|--|------------------|
- 14:20～15:50 講演② 「well-being を求めて」
- | | |
|------------|--------------|
| 社会福祉法人みなと舎 | 前理事長 飯野 雄彦 様 |
| | 副会長 今井 康雅 氏 |
- 16:00 閉会のことば

(2) 創立 60 周年記念式典・祝賀会

11 月 10 日 (金) 13:00～16:00 ローズホテル横浜 式典 145 名参加 祝賀会 130 名参加

13:00～14:10 記念式典 司会：飯山文子理事

開会の辞 副会長 斎藤 喜美夫 氏

式 辞 会長 出縄 守英 氏

来賓祝辞 神奈川県福祉子どもみらい局福祉部 部長 山本 千恵 様

神奈川県議会厚生常任委員会 委員長 武田 翔 様

神奈川県社会福祉協議会 会長 篠原 正治 様

日本知的障害者福祉協会関東地区会 副会長 長岡 洋行 様

功労者表彰及び表彰状贈呈

功労者代表謝辞 (社福) みのり会 セルプ宮前こぼと 山中 淳子 氏

談 話

講師紹介 浅井 一志 氏

「菅 修と神奈川の知的障害者福祉のあけぼの」

(社福) ぶどうの里 名誉理事長 田ヶ谷 雅夫 氏

閉会の辞 副会長 横山 裕一 氏

14:15～16:00 祝賀会 司会：川合明子理事・小谷誠県域協会副会長

開宴の挨拶 会長 出縄 守英 氏

乾 杯 飯田 雅子 氏

歓 談

アトラクション (社福) 進和学園 とびっきりレインボーズ

終宴の挨拶 副会長 今井 康雅 氏

(3) 新任職員人権研修の実施

7 月 27 日 (木) ZOOM 開催 125 名参加

講師 社会福祉法人明星会 竹の子学園 前総合施設長 坂井 正志 氏

(4) 第 38 回神奈川県障害福祉職員実践報告会

第 1 分科会 生産活動・就労支援部会 1 月 24 日 (水) 対面開催 31 名参加

第 2 分科会 地域支援部会 事例応募がなく中止

第 3 分科会 障害者支援施設部会 2 月 27 日 (火) ZOOM 開催

事前申込者数 52 名 当日アカウント数 39 役員・発表者 16 名

第 4 分科会 支援スタッフ部会 2 月 29 日 (木) ZOOM 開催

事前申込者数 37 名 当日アカウント数 41 役員・発表者 17 名

※児童発達支援部会・日中活動支援部会・相談支援部会は実施見送り

(5) 支援スタッフ部会の実施

第 1 回 5 月 30 日 (火) 役員会 ZOOM 開催 14 名参加

令和4年度事業報告、令和5年度事業計画、活動内容の検討

第2回 8月29日(火) 研修会 ZOOM開催 60名参加

「摂食嚥下機能の5期モデルの理解と、スクリーニング方法とリハビリ方法について」

講師：菅 武雄 氏(鶴見大学 歯学部)

第3回 9月22日(金) 研修会 ZOOM開催 70名参加

「支援現場で役立つ、アンガーマネジメントの基礎と実践」

講師：浅井 環 氏(日本アンガーマネジメント協会)

第4回 12月20日(水) 研修会 ZOOM開催 65名参加

「対人援助職のメンタルヘルスケア」

講師：水澤 都加佐 氏(Healing and Recovery Institute 所長)

第5回 3月5日(火) 研修会 ZOOM開催 65名参加

「当事者目線の意思決定支援の実践に向けて」

講師：吉田 展章 氏(ふじさわ基幹相談支援センター えぼめいく所長、神奈川県意思決定支援専門アドバイザー)

講師：松浦 俊之 氏(神奈川県福祉子どもみらい局 共生推進本部 当事者目線障害福祉グループ)

第6回 3月22日(金) 役員会 ZOOM開催 5名参加

令和5年度事業報告、決算報告

(6) 事務研修部会の実施

幹事会 9月1日(金) 16:00～ 保土ヶ谷社協

令和4年度事業報告及び令和5年度事業計画・処遇改善加算実績報告情報共有

研修会 12月1日(金) 14:00～ 保土ヶ谷社協

「BCP策定について」(株) J I C 高橋 勝氏

研修会 1月11日(木) 14:00～ 神奈川県社会福祉センター

「報酬改定の概要について」 日本知的障害福祉協会 三浦史子氏

幹事会 3月01日(金) 15:00～ 保土ヶ谷社協

令和5年度事業報告及び令和6年度事業計画

その他～報酬改定、処遇改善加算情報共有

3. 人権擁護の取り組み

(1) 合同人権委員会の開催 すべて ZOOM 開催

① 5月22日(金) 14:00～16:00

② 10月3日(火) 13:00～16:30

③ 12月18日(月) 15:00～16:30

④ 3月18日(月) 15:00～16:30

この他、調査研究担当、セルフアドボカシ部会で随時打合せを実施

(2) 情報共有

会員施設での虐待案件等についての役員間での情報共有

(3) オンブズマンネットワーク交流研修会

2月19日(月) ZOOM 開催 116名参加

(4) あおぞら意見交換会

1月17日(水) ZOOM 開催 70名参加

テーマ:「自分の仕事、活動について」「自分の趣味、好きなことについて」

ZOOMのブレイクアウトルーム機能を活用しグループワークでの話し合いの実施

4. 防災に関する意見交換

(1) かながわ災害福祉広域支援ネットワーク

①連絡会

5月30日(火) 10:00～11:30 ZOOM 会議

10月18日(水) 10:00～11:30 ZOOM 会議

3月19日(火) 10:00～11:30 ZOOM 会議

②研修

基礎研修 2月21日(水) ZOOMによるオンライン研修 267名参加

DWAT登録研修 7月26日(水) ZOOMによるオンライン研修 45名参加

DWATステップアップ研修 11月13日(月) ZOOMによるオンライン研修 37名参加

DWATスキルアップ研修 2月8日(木) ZOOMによるオンライン研修 28名参加

③訓練

情報伝達訓練 9月7日(木)～8日(金)

派遣調整訓練 3月21日(木)

派遣実動訓練 8月4日(金)・9月3日(日)

④その他

神奈川DWAT先遣隊及びチームリーダー候補者連絡会

6月22日(木)・8月31日(木)

(2) 神奈川DWATの締結について

・チーム員登録数 47名

5. 60周年記念誌編集委員会

委員長 今井(相模原)

委員 浅井・里見・林・上原(県域)、濱走・伊東・深澤・樋口(横浜)

横山・牧田・工藤(川崎)、永野・山根(相模原)

委員会開催状況

第1回 4月26日(水) かながわ県民センター306

第2回 5月24日(水) 同上 1502

第3回 6月21日(水) 同上 305

第4回 7月3日(月) 同上 711

第5回 7月12日(水) 恵和青年寮
 第6回 8月21日(月) かながわ県民センター1502
 第7回 9月1日(金) 鎌倉清和
 第8回 10月6日(金) 同上
 第9回 10月16日(月) 同上
 第10回 10月24日(火) 同上
 第11回 11月1日(水) 同上
 11月10日(金) 創立60周年記念式典で参加者に配布
 全会員事業所、行政、関係団体へ郵送にて配布

6. 日知協・関東地区協会の関連

- (1) 関東地区会長・事務局長会議 4月27日(木) 日本知的障害者福祉協会会議室
(出縄・斎藤・今井・阿部・矢嶋)
 - (2) 日本知的障害者福祉協会定時評議員会 6月21日(水) 浜松町コンベンションホール
(出縄)
 - (3) 関東地区知的障害関係施設種別代表者会議 8月3日(木) 4日(金) 長野県
(4 県市協会から会長・総務委員長・各部会代表者が出席)
 - (4) 全国会長・事務局長会議 10月25日(水) 26日(木) 浜松町コンベンションホール
(出縄・近藤)
 - (5) 急激な物価高騰や賃金上昇を踏まえた令和6年度障害福祉サービス等報酬改定要望集会
10月26日(木) 衆議院第一議員会館 (20名参加)
 - (6) 令和6年能登半島地震に係る緊急地区・地方会長等会議 1月19日(金) オンライン開催
(出縄)
 - (7) 部会協議会・支援スタッフ代表者会議 3月7日(木) 8日(金) TOC 有明コンベンションセンター
(長谷川・佐々木・森下・山崎・福岡・池田・清田・平田・能條)
- 関東地区知的障害関係職員研究大会は山梨県が全国大会担当県のため実施せず

7. 第10回全国小・中学生障がい福祉ふれあい作文コンクール

- ①募集 6月1日から9月16日 応募数：小学生15作品 中学生13作品
- ②選考 10月10日(火) 14:00～15:00 ZOOM 開催
- ③選考委員 早坂(県域・くず葉学園)、姉崎(県域・ライフステージ・悠トピア)
村川(横浜・愛)、横山(川崎・川崎授産学園)、牧田(川崎・くりの丘)
玉井(相模原・銀河)
- ④表彰の授与
文部科学大臣賞 横浜市立矢向小学校6年 多田 千杏瑠さん
3月11日(月) 訪問(出縄・斎藤)
厚生労働大臣賞 横浜市立永野小学校5年 大野 陽夏さん
3月14日(木) 訪問(出縄・阿部)

学校賞 川崎市立塚越中学校 1月29日（月）訪問（横山・牧田）
入選(小学生3作品、中学生3作品)は日本知的障害者福祉協会より賞状・副賞が贈られた

8. 神奈川県との連携

(1) 理事会・総務委員会での情報共有

連合会及び県域協会の理事会、総務委員会に随時出席いただき、情報共有を行った

(2) 国保連の請求システム変更に伴う緊急要望につきまして

国保連の市町村事業（日中一時支援等）に係る請求システムの変更について、新かながわシステムの開発会社がインターフェースを開示しない方針を示したところ、一括請求できるソフトが使えなくなる施設・事業所から不満の声が上がり、当連合会から県障害サービス課長宛に令和5年4月7日付で緊急要望書を提出。協議を重ねて開示の方向になり、ソフト会社が開発することが出来た。

(3) 津久井やまゆり園事件追悼式 7月26日（水）（出縄・今井）

(4) 神奈川県障がい者施策説明会

3月13日（水）書面開催のため、ホームページへの掲載を周知

9. 他団体との連携

(1) 神奈川県障害児者団体連絡協議会運営委員会

5月25日（木）かながわ県民センター601（出縄・横山・今井）

(2) 一般社団法人やまゆり知的障害児者生活サポート協会

理事会

5月30日（火）かながわ県民センター604（出縄・横山・今井）

9月11日（月）神奈川県社会福祉センター402（出縄・横山・今井）

3月28日（木）神奈川県社会福祉センター403（出縄・斎藤・今井）

三役会

3月4日（月）神奈川県社会福祉センター403（出縄・出口）

(3) 神奈川県手をつなぐ育成会総会

4月25日（火）かながわ県民センター301（出縄）

(4) 一般社団法人神奈川県障がい者スポーツ協会

①当連合会は、神奈川県知的障害者スポーツ振興協議会を発展的に解消し、令和2年度に設立した神奈川県障がい者スポーツ協会の正会員として加入している。

②令和5年度については、4回の理事会が開催され赤司氏が理事会に参加した。現在、公益財団法人化に向けた準備を行っている。

③令和5年度の第40回ゆうあいピック大会は、神奈川県立スポーツセンター等にて、サッカー、バレーボール、バスケット、ソフトボール競技を行った。今年度はバレーボール競技にソフトバレーボールを、ソフトボール競技にティールボールを試行的に実施した。また、競技運営にあたりサッカー競技にて、進和学園、七沢学園より運営委員を派遣した。

以上